

## 苫東緑地環境フォーラム

① 苫小牧市サンガ  
デンで10月下旬に開  
かれた環境フォーラ  
ム「苫東緑地のフッ

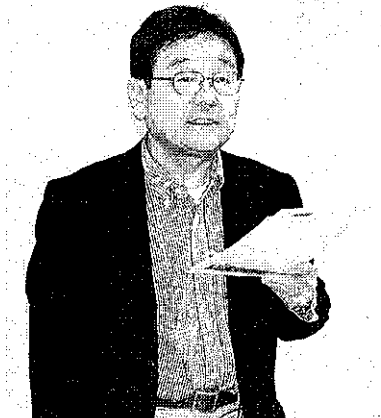
苫東環境コムンズ事務局・草刈健さん

トパス利用と森林健康(NPO法人苫東環境コムンズなど主催)。  
勇払原野の新しい環境保全の取り組みや、森林を生かした健康つ  
くりなどをテーマにした関係者4人の講演要旨を紹介する。

苫東環境コムンズは、は、入会地、共有地を意  
味する英語です。私たち 保全する作業を担って動  
と、昨年1月に誕生し は、ある程度自由に入る いています。  
たNPOです。この1年、 このできる環境の状態 コナラを中心とした雑  
何をしてきたのか、どん を環境コムンズと呼んで 木林の保育、フットパス  
な仕組みで動いているの を中心に紹介します。

私たちのNPOは企業  
や行政の要請でつくられ  
たのではなく、純粹に勇払  
原野と苫東の自然が掛け  
替えのない地域の宝と思  
う人々の自由意思で立ち  
上げたものです。  
コムンズという言葉

私たちがNPOは企業  
や行政の要請でつくられ  
たのではなく、純粹に勇払  
原野と苫東の自然が掛け  
替えのない地域の宝と思  
う人々の自由意思で立ち  
上げたものです。  
コムンズという言葉



NPO活動の経過を説明する草刈さん

道り、コナラの保全方法 道内外のファンに支えら  
の研究などをしているま れています。  
す。勇払原野の中に苫東 苫東環境コムンズの前  
があり、その中に環境コ 型は、昔みんなが自由に  
ムンズを設定していま 入っていたハスカップの  
す。いろいろなNPOが 原野です。立地企業が愛  
手結び、エリア全体を 護組合をつくり、安平町  
保全、利活用に役立てよ の遠浅町内会が緑地を自  
がスタートした記念に、  
シンボルツリーを昨春秋  
常的な活動には、運営委  
員4人が中心となって当  
たっています。環境に配  
慮し、生物多様性の保全  
に心掛けています。私た  
ちが得られるものは、環  
境の守り手という自己実  
現の美感や満足度です。  
私たちの目標は、勇払  
原野の風土を共有し、環  
境コムンズを実現するこ  
とです。支える資源は、  
人、個人や団体会員から  
寄付になります。今後、  
地域資源を活用したスモ  
ールビジネスも展開して  
いこうと考えています。

# エリア全体保全し活用

## 勇払原野に環境共有地づくり

うとしています。  
苫東の緑地は、従来か ら管理しながら利用して  
ら公共の土地と捉える地 きた背景があります。 しています。非常に持続  
域住民の考えがあった。 今年春からまき割りも 可能な地域資源です。高  
苫東環境コムンズは環境 始めました。木材を地域 度な技術のいるチェー  
保全の担い手で、北海道 の人々のストープに使っ ソーを使うので、私たち  
開発協会と環境コムンズ てもらおう。余ったら欲し は年2回程度、研修をし  
研究会から支援を受け、 動資金にする。森づくり います。厳しい山仕事はか  
強会や山菜採りなども行

【お断り】 連載「心を  
つないで」は休みます。

## 苫東緑地環境フォーラム②

釧路公立大学長・小磯修二さん



### 苫東緑地

苫東環境コモンズの活  
動的、独占的に使う縦割  
り動は、日本が健全に発展  
していくための新しい仕  
組みづくり、創造的な挑  
戦です。実践と研究の両  
面からアプローチしてい  
くことが重要です。  
地球全体を考えた場  
合、限られた資源を排他  
えていくか、社会のこと

的、独自の使う縦割  
りの社会構造から、共生  
、協働という動きが  
最近の主流。その中で、  
持続可能性という言葉が  
十数年前から使われるよ  
うになり、限られた地球  
資源をどう次の世代に伝  
えていくか、社会のこと

# 限られた資源、次世代に

## 環境共有の考えに意義

が大事な考え方ではない  
かと思うのです。  
土地は地球の一部で  
す。日本の場合、所有制  
度でいったん所有者が決  
まると、非常に排他的に  
使われます。土地利用  
度の硬直性が日本の制度  
の中で非常に大きな問題  
になっていいると考えま  
す。  
排他性を和らげ、土地、  
空間の持つ価値を高めて  
いく仕組みを地域内の連  
携で構築していくことが  
可能です。苫東環境コモ  
ンズの活動の意義もそこ  
にあります。  
インターネットやカー  
シェアリングなどに見ら  
れるように、資源をみん  
なで共用するシステム  
が、地域の持続的な発展  
に向けた創造的な仕組  
みになっていきます。一つ  
の経済的価値から、地域  
全体の経済的価値を重視  
する考え方が今の流れだ  
と思います。  
私は経済学にも関わら  
ない。常に平和で安定  
的な社会を前提としたも  
のです。  
それだけでは駄目で、  
平時と非常時の考え方を  
バランスよく持って、社  
会をつくっていくべきで  
す。非常時の論理として、  
強靱(きょうじん)な社  
会づくり、社会の柔軟性  
、絆が非常に大切。コモン  
ズの思想は、これからの  
柔軟で強靱な地域社会の  
形成につながる考えの方  
だと思ひます。

「コモンズの思想は今  
後の社会形成の上で重  
要」と話す小磯さん

## 苫東緑地環境フォーラム③

エコネットワーク代表・小川巖さん

年に東京都町田市に設立されました。

「フットパスは、いろいろな類型に分けられます。」

フットパスという言葉を知っている方が、以前と比べて少しずつ増えてきたと思います。10月に山形県長井市で日本フットパス協会の総会がありました。そこで全国の事例が出てくるのですが、私は、北海道がフットパスに関しては日本で一番であることを実感しています。

# フットパスで地域振興

## 道内は適地、食や観光も

道内には40市町村に100を超えるフットパスがあります。道内でフットパスを造る動きが始まったのは、1990年代後半からで、2002年に札幌市内でフットパスを取り上げたフォーラム

が、高いと自信を持ち、03年に札幌で全道フットパスの集いを開催しました。

集いは、全道各地で毎年1、2回開き、興味の

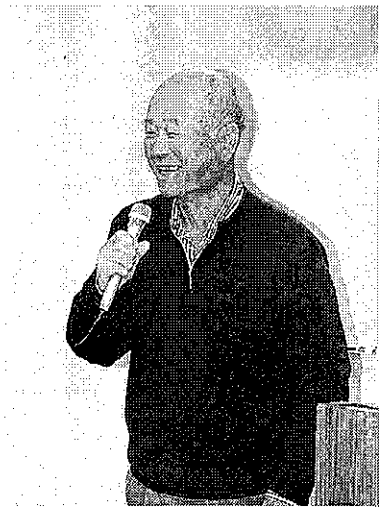
ある方にフットパスの存在を知ってもらいます。日本フットパス協会は09

北海道で多いのは、農村エリアを通るタイプです。山道や街道、獣道、鉄道の廃線などにもコースがあります。

フットパスは、一つの自治体の中にあるのが基本ですが、複数の自治体をまたぐロングトレイル

を思考している団体もあります。網走市から釧路市まで200キロ以上歩く

AKUエイ、中標津町が



「フットパスは地域振興に貢献できる」と小川さん

る場になっています。

根室市では、酪農家グループが酪農への理解を深めてもらおうと、放牧地の中にコースを設定しています。遠くに太平洋が見え、英国の海岸線によく似ています。

漁業と酪農が盛んなえりも町では、フットパス利用者が自然を歩くだけでなく、新鮮な海の幸などをを使った昼食を楽しみにしています。

空知管内南幌町のフットパスは、コースの中に農家があり、住民の方に歓迎されてトウモロコシやトマトを頂くこともあります。有機栽培なので大変おいしく、農家も地域振興に貢献できます。ぜひ、皆さんもフットパスを大いに楽しんでほしいです。

## 苫東緑地環境フォーラム④

植苗病院・精神科医 瀧澤紫織さん

植苗病院では週に1回、森林療法の時間を設け、希望者にフットパス

回、森林療法の時間を設け、希望者にフットパス歩きをしてもらいます。増進に利用すること

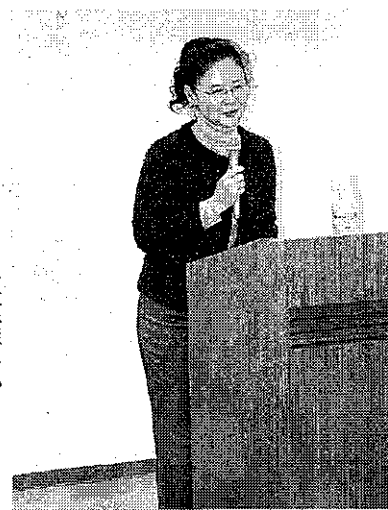
取り組みを始めて5年ほどたちますが、病院の中で人気のある活動です。

参加すると、よく眠れるとか、気持ちが落ち着くといった声を患者さんから聞きます。

森を歩くことが好きになって、毎日歩く人は薬の使用量が減って健康的になります。でも残念なことに、そういう人は少数派です。歩くことが自分の体に良いという意識が高まり、身近に歩きやすい場所があるといいな

や健康に大切な意味を持つという視点です。なるべく近い場所で費用が掛からない方が、持続した健康管理に役立つのではないかと思います。

現代の疾病構造は、運動不足とストレスが関係しています。運動不足と心の健康は一見離れてい



「森林環境は人の健康に有益」と話す瀧澤さん

# 森林が精神を健康に

## 自然歩き、快眠効果も

て有益な面がたくさんあると考えています。

欧米だと、英国ではライフラインとしての森林と関係があるのではという話がクローズアップされています。

良い森林環境が身近にあることが、その人の生活

るように思われますが、うつ病や神経症、子供の多動の問題などは、運動

質が歩くことによつて盛んに分泌されます。体を

使うことで気分転換になり、頭がうつうつとした状態から解放されることも

な要素です。

認知症高齢者の施設で森林療法に関わったことがありますが、リハビリ

施設で「さあ動きましょう」と言っても、高齢者はなかなか動きません。

しかし、森の中では活動的になる人が多い。人が健康的に過ごすには、個人と環境、地域社

会が調和し、初めて実現すると思えます。精神科の領域でも、英国などで

悩んでいる人にとつて、すこく大きな刺激となります。

質が高く、身近にある森林環境は、自然な運動を促し、心理的、精神的な健康をもたらします。

地域の土地をみんなで利用することが健康に結び付くので、もっと自然と触れ合う人が増えればと思います。

(おわり)